

# あつぎ市議会だより

第206号 発行日/平成23年5月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3丁目17番17号 ☎046(225)2700

## 2月定例会

## 平成23年度予算など34議案を可決

### 予算総額1273億円、一般会計は789億円

2月定例会は、3月3日から25日までの会期23日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、市道路線の廃止及び認定、一般廃棄物処理の事務委託に係る協議、平成22年度一般会計補正予算のほか、条例の制定・改正、平成23年度一般会計予算など31議案で、初日・第2日の質疑終了後、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。

第3日から第5日までの3日間、議員16人が登壇し、一般質問が行われました。また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託さ

れた案件に対し、慎重な審査が行われました。

最終日の冒頭、3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表し、本会議場で黙とうが捧げられました。その後、各常任委員長の審査結果報告、6会派による討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり可決しました。さらに、市長から「副市長の選任について」「監査委員の選任について」「公平委員会委員の選任について」の議案3件が追加提出され、同意しました。「一般質問は2・6面、委員会の審査は6・7面、本会議の審議結果は8面に掲載」

### 補正予算

可決した平成22年度補正予算議案は一般会計と8つの特別会計です。

一般会計補正の歳出の内容は、総体的には、執行状況などを勘案し、143の事業について減額をするものです。一方、増額事業として、小学校校舎・体育館改修事業費、企業立地等サポート事業奨励金、あゆみ橋負担金を内容とした道路施設維持管理事業費、冠水対策の交通安全施設事業費などを措置するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額（カッコ内）は次のとおりです。

- ◇一般会計 770億8379万円（11億5664万2千円減）
- ◇公共用地取得事業特別会計 30億7519万3千円（9126万4千円減）
- ◇老人保健医療特別会計 1935万8千円（122万8千円増）
- ◇後期高齢者医療事業特別会計 16億6717万9千円（9155万7千円増）
- ◇国民健康保険事業特別会計 228億1568万3千円（6533万1千円減）
- ◇介護保険事業特別会計 81億9997万3千円（1億1643万9千円増）
- ◇交通災害共済事業特別会計 5951万6千円（2547万5千円増）
- ◇自動車駐車場事業特別会計 2億1538万7千円（1050万5千円減）
- ◇公共下水道事業特別会計 58億798万5千円（1億25万円減）

### 条例の制定

可決した条例の制定議案は3件です。

「厚木市一般職の任期付職員採用等に関する条例」は、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、一般職の任期付職員の採用などについて必要な事項を定めるため、制定するものです。

「厚木市看護師等奨学金貸付条例」は、厚木市立病院に勤務する看護師などを確保するための奨学金貸付制度を設けるため、制定するものです。

「厚木市土地開発公社の解散に伴う関係条例の整理に関する条例」は、土地開発公社の解散に伴い、必要な措置を講ずるため、条例を制定し、厚木市情報公開条例など3条例を一括して整理するものです。

### 副市長に鈴木勲氏

新たな副市長の選任について同意を求める議案が最終日に市長から提出され、鈴木勲氏の選任に賛成全員で同意しました。



鈴木副市長

鈴木氏は、産業振興部次長を経て平成21年4月から産業振興部長。現住所は三田南3の27の34。

### 監査委員の選任に同意

監査委員の任期満了に伴う後任の委員として、下嶋和美氏・愛甲郡清川村煤ヶ谷1371を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。

### 公平委員の選任に同意

公平委員会委員の任期満了に伴い、引き続き、立川正雄氏・横浜市港南区港南台4の30の7を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。

2面下段に続く

来園者の目を引く水仙の花（荻野運動公園）



### 平成23年度予算

特徴は、全ての事務事業について、さまざまな角度から事業内容を詳細に検討し、業務委託や民営化の推進をはじめ、徹底した経費の削減などを行い、限られた財源を市民要望や新たな社会的ニーズに応じた事業に配分したこと。また、最終年度を迎える総合計画「あつぎ元気プラン」第1期実施計画の着実な推進と目標達成に向け積極的

に取り組むとともに、厳しい経済状況を踏まえ、引き続き景気対策に最大限の配慮をしたことです。



今定例会では、16人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたずねました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

## 経常収支比率を下げる 努力をしているか

改革あつぎ 徳間 和男議員



問 経常収支比率をどう改善しているか。

答 市長 市民生活に密着した独自の政策を推進する経費を含め、経常的経費が増加する傾向にある。今後も政策的経費を確保しつつ、人件費の抑制や業務委託で無駄をなくすなど徹底した行財政改革を進める。

問 職員給与の見直しをする気はあるか。

答 総務部長 適正な給与額について絶えず検討し、改善が必要であれば行っていく。

## ●人事の取り組み

問 施政方針に条例を11本作るとある。仕事の能率や行政サービスを高めるには、副市長1人体制では難しいと思うが。



東名厚木インター付近の大型商業施設建設予定区域(右は東名高速道路、中央を国道129号が横断)。11月に一部開業が予定されている

答 市長 新しい三大改革を含め、しっかりと取り組むためにも、今議会の中で副市長の人事案

件を提案を考えている。

問 職員に民間企業感覚を身に付けさせるため、企業に派遣できるか。

答 市長 ある程度の期間が必要だが、実現できるとしてみたい。

## ●にぎわいの両立

問 計画中の厚木インターチェンジ南部周辺の商業施設と中心市街地のにぎわいの両立は可能か。

答 市長 厚木インターチェンジ南部周辺に計画の商業施設は、沿道サービス型の店舗を核に、幅広い年齢層を対象にした店舗構成になると聞いている。一方、中心市街地は、飲食、物販、サービス業などさまざまな店舗により形成された回遊性のある街並みと認識している。それぞれの特性を生かした施設の誘導を図り、魅力あふれるまちづくりに取り組んでいく。

## 市民の誰もが願う 生涯現役に向けての施策は

あつぎみらい 松田 則康議員



問 地域福祉の推進、地域の課題解消における市民の誰もが願う生涯現役に向けての施策は。

答 市長 地域の課題は複雑化し、住民相互の自主的な助け合いの意義もますます大きくなっていく。新たに地域福祉推進員を配置し、地域の皆さまと相談しながら、多くの方々が積極的に社会活動に参加できる仕組みづくりを推進していく。

問 ボランティアのまとめ役のような方に地域福祉推進員になっていただくのも大きな戦略になるか。

答 市長 政策実現を可能にするには、職員が市政に対する誇りと自覚を持つことが重要であるが、今後の体制は、

答 福祉部長 現在、自治会長や民生委員、各団体の方々に地域福祉を支えていただいているが、取り組みを進めるためにも、社会福祉協議会の嘱託員に、地域に入っ

て活動してもらうことも考えている。

## ●職員の意識改革

問 市長2期目の政策実現に向けて、職員の意識改革への取り組みは。

答 市長 政策実現を可能にするには、職員が市政に対する誇りと自覚を持つことが重要である

## (仮称)健康こどもの森 整備事業の背景は

市政クラブ 齋藤 仁礼議員



問 事業の計画に至った背景は。

答 河川緑政担当部長 市民意識調査などによると、生活環境の整備に対するニーズが非常に多く、自然を生かした公園や健康づくりの場として公園の整備要望がある。また、あつぎこども未来プラン策定に当たっての

パブリック・コメントでは、子どもが野山を駆け回る遊び場の設置を望む声があった。このため、将来を担う子どもたちが豊かな自然と触れ合う機

会、研修や上司からの指導などを通じ意識改革を促している。共通の目標に一致して取り組めるよう、さまざまな機会に意識付けを行っている。

問 職員研修や職員面談、人事における意識改革の取り組みは。

答 総務部長 職員の意識、意欲の向上を図られるよう、多様な研修を実施している。面談は、上司と部下が意思の疎通を図るため、年度の間と末に行っている。また、人事異動で適材適所に配置し、やる気の向上や自己実現につなげている。



観点からも、荻野川沿いの健康・交流の道と連動させていく。オオタカの保全、保護などにも考慮しながら、総合計画の第2期実施計画での整備を目指し、進めていきたい。

## ●スポーツのまちあつぎ

問 中学校部活動のうち、運動部への加入率と部活動指導協力者の数は。

答 学校教育部長 平成22年度当初の調査では、市内13校の部活動加入率は88%で、そのうち運動部への加入率は67%である。41人の部活動指導協力者が運動部の指導をしている。



問 整備は、いつ頃検討を始めるのか。

答 宮台副市長 拡張用地は里地里山として素晴らしい場所であり、生涯健康長寿社会を目指す

1面から続く

## 市道の廃止・認定

可決した市道路線の廃止・認定議案は5件です。

市道路線の廃止及び認定について(2件)は、飯山地内における道路新設改良や上依知地内における宅地分譲のための開発行為に伴うものです。

市道路線の認定について(2件)は、飯山地内における宅地分譲のため

の開発行為に伴うものや森の里一丁目地内における隣接地権者からの市道編入申請に伴うものです。

## 条例の改正

可決した条例の一部改正議案は5件です。

「厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例」の改正内容は、現下の経済状況を踏まえ、市長が取り組み可能な財政上の対策として、その在任期間中の給料の額を減額するものです。

「厚木市職員の退職手当に関する条例」の主な改正内容は、国家公務員退職手当法の改正に準じて、退職手当の新たな支給制限と返納の制度を導入するものです。

「厚木市国民健康保険

条例」の主な改正内容は、資産割を廃止し、それに伴う基礎賦課総額などの案分率を改めるものです。

「厚木市小児の医療費助成に関する条例」の改正内容は、子どもの医療費助成の対象を拡大するものです。

「厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」の改正内容は、消防団員の年齢による退職要件を撤廃するものです。

## 一般廃棄物処理 事務委託の協議

「厚木市と清川村との一般廃棄物処理の事務委託に係る協議について」の議案が提出され、可決しました。

内容は清川村の一般廃棄物処理の事務のうち、可燃ごみの焼却処理および粗大ごみの破砕処理、し尿および浄化槽汚泥の処理について、厚木市が事務の委託を受けるに当たり、清川村と協議することについて、議会の議決を求められたものです。

## 会議録の閲覧を！

本会議の詳しい内容は、会議録をご覧ください。インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)、中央図書館、各地区市民センターで閲覧になれます。2月定例会の会議録は、6月上旬ごろ公開する予定です。

## 市民サービスの向上について 現状と課題は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 現状と課題は何か。

答 市長 昨年11月の市民満足度調査では、全ての項目で満足度が向上している。これは、あつぎ元気プランの各施策が市民の期待に応えられていることや、全ての業務において、おもてなしの心で取り組んだ結果だと考えている。今後も市民ニーズを的確に捉え、各施策を着実に展開することとで市民福祉の向上が図られると考えている。

問 留意している点は。

答 市長 現地対話主義を基本に、常に市民の立場に立って取り組むとともに、市民の思いを的確に市民サービスに反映できるように努めている。職員削減による市民サービスへの影響は、政改革に取り組んでおり、職員の削減も市民サービスに影響がないよう計画的に行っている。

### ●社会教育と学校教育

問 現状と課題は。

答 教育長 教育充実

## 人口減少を 食い止める方策は

日本共産党 釘丸 久子議員



問 働く人が少なくなれば、税収が減り、市政運営の規模が小さくなってしまふ。人口減少を食い止める方策は。

答 市長 平成21年の人口動向の分析では、20代から30代の転出が多く、転出世帯の持ち家比率は非常に低い傾向にある。このため、シティセー

ルスの一環として子育て世代を対象に本市の魅力や住みやすさをPRした「あつぎの本。」を発行するなど、情報発信に努めている。また、平成23年度には、マイホーム取得助成事業をはじめ、子ど

問 超高齢社会になると、どのような施設や施策が地域に必要なとなると考えているか。

答 政策部長 高齢者の方が外に出て仲間と触れ合い、地域の中でコミュニティが醸成されるような環境を整えること。また、公民館や老人憩の家など身近な施設で活動ができるよう支援するなど、幅広い施策の推

プランを策定し、生涯自立して生きていける人の育成に向け、家庭、学校、地域社会と協働で各種事業に取り組んでいる。しかし近年、社会環境が大きく変化し、地域のつながりや規範意識が希薄化していることから、地域ぐるみで子育てや教育力のさらなる向上を図ることが重要である。

問 教育現場における非正規職員の状況をどのように認識しているか。

答 教育長 市内小・中学校の県費負担の教職員人数は、過去5年間で正規職員は微増、欠員補充の臨時的任用職員は、ほぼ横ばいである。

問 教育現場における非正規職員の状況をどのように認識しているか。

答 教育長 市内小・中学校の県費負担の教職員人数は、過去5年間で正規職員は微増、欠員補充の臨時的任用職員は、ほぼ横ばいである。

進が必要と考えている。

問 大きな事業所が撤退すると地域に大変な影響が出てしまふ。事業所の閉鎖・撤退に対し、企業に撤退事業計画を提出させる考えはあるか。

答 産業振興部長 現在、撤退を想定した条例や要綱をつくることは考えていないが、今後は、撤退する企業に対し何らかの約束事を記した書面や要綱などが先進事例としてあるかどうかを含め、研究していきたい。

問 旧恵心病院の跡地利用の考えは。

答 河川緑政担当部長 今年の秋口には更地にする予定であり、地域の意見を聞きながら、使い道を考えていきたい。

●放課後の子ども対策

問 留守家庭児童クラブの対象を4年生以上に拡大する考えはあるか。

答 こども未来部長 小学校3年生生までも、何とか100%の受け入れを目指してやっている状況である。そこをクリアした後で検討したい。

## 議会を傍聴 しましょう

### 6月定例会などの予定

|       |     |             |
|-------|-----|-------------|
| 5月24日 | (火) | 本会議 (議案等質疑) |
| 30日   | (月) | 本会議 (一般質問)  |
| 31日   | (火) | 本会議 (一般質問)  |
| 6月1日  | (水) | 本会議 (一般質問)  |
| 6日    | (月) | 総務企画常任委員会   |
| 7日    | (火) | 市民福祉常任委員会   |
| 8日    | (水) | 環境教育常任委員会   |
| 9日    | (木) | 都市経済常任委員会   |
| 16日   | (木) | 本会議         |

(委員長報告・討論・採決)  
厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会

※開会は原則として午前9時です。  
※本庁舎5階ロビーで受け付けをします。

インターネット中継も実施—  
本会議・常任委員会の生中継と録画中継を実施しています。ご覧になるには

厚木市議会  検索

※東日本大震災発生以降の会議は、電力不足に対する節電に協力するとともに、審議途中での停電も予想されたため、インターネット中継を見合わせました。今後も電力の供給状況により、中継を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

## 依知地域の まちづくりの考えは

公明党 川口 仁議員



問 関口・山際地区における市街地調整区域の事業化は、都市計画の線引き見直しを見据えてからと聞くが、その時期は。

答 まちづくり計画部長 都市計画決定権は神奈川県にあるので、十分に連携を図る必要があるが、平成26年度か27年度に告示するスケジュールで進むと考えている。

問 旧恵心病院の跡地利用の考えは。

答 河川緑政担当部長 今年の秋口には更地にする予定であり、地域の意見を聞きながら、使い道を考えていきたい。

●放課後の子ども対策

問 留守家庭児童クラブの対象を4年生以上に拡大する考えはあるか。

答 こども未来部長 小学校3年生生までも、何とか100%の受け入れを目指してやっている状況である。そこをクリアした後で検討したい。

## 政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反をすると罰せられます。有権者が寄付を求めてもいけません。

### 禁止されている寄付 (例)

- ◆落成式・開店祝の花輪、葬式の花輪
- ◆入学祝・卒業祝、お中元、病気見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や差し入れ



## 議会運営の在り方など 具体的な内容を検討

— 議会の在り方検討会 —

議長からの諮問事項を検討する議会の在り方検討会（齋藤仁礼会長）は、昨年12月16日以降、協議を進めています。今回は諮問事項のうち、検討会としての方向性が示された事項について、委員の主な意見を紹介します。

■一般質問において、理事者が論点整理のために質問内容を確認する行為について  
・制限時間の関係もあるため、議員が何を質問しているか整理するための確認にとどめてほしい。  
・財源はどうするかなど政策提案につながる反問権を認めると、一般質問の議論がその場で深まるのか疑問である。

《方向性》確認する行為は認め、議長の議事整理権で運用する。  
■決算議案を分割付託することについて  
・現行の特別委員会（9人）における通告制や書類提出・審査は、決算審査をする上で重要である。  
・常任委員会に分割付託すれば、1人会派も含め全議員が審査に加われる。  
・議会のチェック機能を果たすためにも、常任委員会に分割付託し、細かく審査した方がいい。

《方向性》常任委員会に分割付託して審査する。

このほかの協議事項は次のとおりです。次号以降でお知らせします。  
■議員間における自由討議の具体的な手法について  
■請願者・陳情者が意見を述べる機会を設けることについて  
■議会基本条例の必要性並びにその内容について

議会の在り方検討会の日程は、ホームページでお知らせします。

## 市長2期目4年間の政治姿勢は

改革あつぎ 松前 進 議員



**問** 2期目4年間で留意する点は。また、小林市政の仕上げとは何か。

**答** 市長 市民と共に育ててきた協働という絆を原動力に、改革を止めることなく、あつぎ元氣プラン第1期基本計画の目標達成に向け全力で取り組み、市民自治、協働のまちづくりの基礎をしっかりと築く。その上で、市民が明るく元氣で幸せに暮らせるよう、総合計画の将来都市像「元氣あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」の実現に向け力強く前進する。

### ●教職員の多忙化

**問** どう考えているか。

**答** 教育長 授業以外に、学校の運営や地域などの外部対応に多くの時間が割かれている。教育委員会では、給食費未納者の督促事務の軽減や、児童・生徒を対象とした募集作品を担当課で回収するなど、教職員の多忙化解消と負担軽減に取り組んでいる。

**問** 学校現場（教職員）多忙化解消検討委員会を立ち上げる考えはあるか。

**答** 教育長 学校教育部次長や教頭・教職員の代表から成る学校教職員安全衛生委員会を開催し、労働安全衛生の向上のために協議している。今後、この委員会で検討する。

### ●救命救急・応急手当て

**問** 卒業行事に組み込むなど、中学3年生に講習を実施してはどうか。

**答** 市長 多くの市民がAEDや心肺蘇生法などの応急手当てを習得できるような救命講習会を実施している。今後は、さまざまな機会を捉え、中学生を含めた幅広い年代層への普及啓発活動を積極的に推進していく。



AED(自動体外式除細動器)の操作を学ぶ講習会参加者

## 厚木市の飛躍に向けて将来展望は

改革あつぎ 石井 芳隆 議員



**問** 厚木市がさらに飛躍するための方策は。また、どのような施策を推進していくのか。

**答** 市長 将来を見据えた盤石たる基盤づくりが必要なので、本市のポテンシャルを十分に生かし、経済をはじめ教育、文化、情報などの生活環境をさらに充実させるこ

とで、高次都市機能を提供え、あらゆる面で他市をリードしていく県央の雄都を目指していく。

そのため、あつぎ元氣プランを力強く推進するとともに、三大改革として公約に掲げたインターチェンジ周辺の基盤整備をはじめとした経済活性化・企業誘致、日本一を

## ごみ処理経費などコスト意識につながる表示を

改革あつぎ 高田 浩 議員



**問** 税金の使われ方が市民に一目で分かるよう、ごみ集積所に処理経費を表示してはどうか。

**答** 環境みどり部長 ホームページには掲載しているが、市民によりコスト意識を持つていただくため、ごみ集積所にも簡単な表示をしたい。ごみ減量、資源化のお願いも表示すれば、より効果があると考えている。

**問** 1人当たり、1回当たりなど、市民目線の数字で税金の使われ方を示せば、市民一人一人のコスト意識につながると思う。平成21年度の放置自転車撤去費用、防災行政無線の放送費用、救急車の出動費用、ごみ処理経費、中央図書館の本の貸し出し費用はいくらか。

**答** 協働安全部長 放置自転車1台の撤去費用は2700円、防災行政無線1回の放送費用は4万8700円である。

## 第2期実施計画策定の基本的な考え方は

改革あつぎ 太田 洋 議員



**問** 第9次厚木市総合計画における第2期実施計画の策定に当たっての基本的な考え方は。

**答** 市長 第2期実施計画は、基本計画6年間の総仕上げとなる重要な位置付けとなるため、第1期実施計画の方向性を継承しながらも、社会情勢の変化や市民ニーズを的確にとらえ、時代の趨勢により変化する現状と

目指す子育て・教育環境の充実、徹底した無駄を排除する行財政改革に取り組む。そして、市民の皆さまが明るく元氣で幸せに暮らすことができるよう、総合計画の将来都市像「元氣あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」の実現に向けて、力強く前進していく。

**問** あつぎ元氣プランや三大改革の実現に向け、厚木市がさらに飛躍する1つの手段として、幅広く政策研究する非営

利研究機関のシンクタンクを設置する考えはあるか。

**答** 市長 現在、専門委員の制度を設け、その分野に特化したアドバイスや指導を受けて新しいことにチャレンジしている事実がある。

シンクタンクの設置については、研究課題として受けとめ、そういう人材に意見を聞く必要があるということになれば、人数構成を含めて研究する余地はある。

**答** 消防長 救急車1回の出動費用は5万3千円である。

**答** 環境みどり部長 ごみと資源については、収集から最終処分までの1人当たりの年間経費は1万4千円である。

**答** 社会教育担当部長 本の貸し出し1冊当たり、230円である。

### ●今後4年間の市政運営

**問** 市政運営の責任者として、自身の哲学や意識していることは何か。

**答** 市長 物事の決断に当たり、自分だけの判断がいいのか悪いのか自問自答しながら、いろいろな角度から判断してい

る。自分にとって有利なことを排除し、何のために、誰のために、何が必要かを考え、判断することが大事だと考えている。



**問** 策定に向けての進め方は。

**答** 政策部長 このほど第2期実施計画の策定方針を作成して、2月末には次長、課長職への説明会を開催し、併せて庁内全体にも周知をしたところである。基本的には、将来都市像に向かって第1期基本計画に位置付けている5つの基本政策、29の基本施策、69の単位施策、これらの体系に沿ってまとめていきたいと考えている。

今後のスケジュールは、各所管課が十分に事業化の検討を行い、3月中には骨格となる基本的な事業を抽出し、4月下旬をめどに、さらなる検討を深め、第2期実施計画の事業構成を整理していく予定である。

財政推計については、財務部と十分協議を進めながら全体的な枠組みを明確にし、段階的なヒアリングを得て庁内全体でまとめていきたいと考えている。

## 病院特別委員会

2月定例会終了後、厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会が開かれ、執行機関から、建て替え工事を2期に分ける計画や手順のほか、平成24年4月から運営形態を地方公営企業法の全部適用に移行することなどが説明されました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

**問** 現在の運営形態は、地方公営企業法の一部適用だが、一般会計からの繰り入れ基準はどうか。全部適用で変わるのか。

**答** 救急や感染症などの政策医療や高度医療機器の購入など、収益に結び付かないものがあるので、総務省の基準で一般会計から負担金をいただいている。全部適用になっても財務部門は変わらないが、より公営企業の体質になってくる。

**問** 収益を上げるには、結局のところ、経営能力のある管理者を探すしかないのではないか。

**答** 全部適用で必ず収益が上がるわけではない。事業管理者が人・物・金などの資産を十二分に活用できるかどうかである。

※地方公営企業法の全部適用…同法の財務規定だけの一部適用でなく、組織や職員の身分規定など全ての条文を適用すること。管理者は予算や職員の人事権を持ち、給料を決められるため、より柔軟な経営ができる。一方、経営責任が明確化される。

厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会  
委員長 松田則康 副委員長 石井芳隆  
委員 名切文梨、山本智子、栗山香代子、越智一久  
関戸順一、石井恒雄、徳間和男 ※平成23年3月25日現在

## 統合保育の 現状と課題は

公明党 寺岡 まゆみ 議員



**問** 障がい児が健常児と共に保育を受ける統合保育の現状と課題は。

**答** 市長 同じ環境の中で共に生きることの大切さを育むため、保育所や幼稚園に入所を希望する障がい児を受け入れ、障がい児の福祉の増進を図っている。障がい児を受け入れるための保育士や療育環境の確保が課題である。

### ●5歳児健診の導入

**問** 発達障害・自閉症などの早期発見、早期療育のため、5歳児健診を導入する考えはあるか。

**答** 市長 発達障害の診断ができる専門医の確保や受診後の支援体制など、課題があるため、5歳児健診を導入する考えはない。

どの課題があるため、調査研究を進めていく。

### ●小・中学校普通教室の冷暖房設備設置事業

**問** 必要性和費用対効果を十分に検討したか。

**答** 教育長 子育てコミュニティトークなどで、保護者や市民の皆さまから、暑さ対策の意見や提案をいただいた。このため、児童生徒の健康面への配慮や、快適な学習環境を確保するため、設置に取り組むこととした。

事業の実施に多額の費用が見込まれるので、調査を実施し、最も効果的で効率的な事業手法の検証を進め、早期に設置がで

きるよう取り組んでいく。  
**問** 夏休み期間に地域の方々に開放するなど、学校施設の有効活用を考えているか。

**答** 教育総務部長 教室には生徒の私物があり、プライバシーに関わる課題などがあることから、学校とも十分協議し、時期を見据えながら方向性を見いだしていきたい。

## 荻野地区における サル出沒の対策は

あつぎみらい 難波 達哉 議員



**問** 小学生の登下校時などにサルの目撃情報があった場合の対応は。

**答** 教育総務部長 上荻野小学校などでは、先生が追い払っているほか、サルに遭遇した場合の注意を学校だよりや講話の中で指導している。

**問** 荻野地区における鷹尾群のサルの対策として、防護柵を設置する考えはあるか。

**答** 宮台副市長 地元の関係者と協議をさせていただき、設置する方向で進めていきたい。

**問** 小鮎地区では、地元の関係者が中心となり、獣害軽減を目的に活動する、わな設置協議会を立ち上げている。この活動の促進や支援をする考えはあるか。

**答** 産業振興部長 野獣駆除のために、わなを設置して捕獲した場合に、税金が免除されるよ

## 子どものページ

厚木市議会では、開かれた議会を目指し、議長のページや議員名簿、議会データ、会議録、議会だよりなどのほか、「子どものページ」をホームページに掲載しています。

「子どものページ」では、市議会の仕組みを子ども向けに分かりやすく紹介しているほか、クイズや議場見学のお知らせなども掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

※「子どものページ」はホームページの「市議会のしくみ」の中にあります。



## 子どもの貧困への 問題意識を持っているか

あつぎ市民の党 奈良 握 議員



**問** 教育行政として、子どもの貧困への問題意識を持っているか。

**答** 教育長 経済的な困難を抱える家庭の子どもが小・中学校で等しく勉学に励めるようにすることが大切と考える。このため、就学援助制度の一層の周知を図っていく。

**問** 要保護および準要保護児童・生徒への就学援助の割合と推移は。

**答** 教育総務部長 小・中学生の総数に対し、平成21年度が16.1%で、平成22年度末には18%を超えると考えている。

**問** 対象となる家庭の状況はさまざまで、子どもからも何らかのサインが出ていると思う。何か情報を持っているか。

**答** 学校教育部長 具体的な情報はないが、子どもの微妙な変化に気付く目を担任の教師がしっかりと持ち、学校全体としても子どもの様子をきちがめるのではないかと考えている。

**問** 子どもの貧困対策として、認可施設と認可外では利用料金に格差が生じている。格差が生じない仕組みを検討しているか。

**答** こども未来部長 一時預かり事業については進めるべきと認識しているが、現時点では利用料金の格差については支援策などは展開していない。多種多様な保育ニ

ーズがあるため、優先事項を選択しながら保育環境の充実に努めていく。

**問** 公共事業の担い手として市民団体やNPOなどの多様な団体が参画するに当たり、事業を評価する仕組みも必要と思う。審査方法などのルールをどのようにするのか。

**答** 地域力創造担当部長 市民協働推進委員会において、市民協働の基本的な理念やルール作りの作業をしている段階であり、内容についてはこれからである。

## 多様な子育てニーズに 対応しているか

神奈川ネット 前田 多賀子 議員



**問** あつぎこども未来プランを策定するためのニーズ調査によると、子育て中の母親はフルタイムや正規で働くよりも非正規やパートで働きたいという方が多い。認可保育所では週4日以上就労していることが受け入れの要件だが、こういった母親の働き方のニーズと受け入れ要件にミスマッチがあるのではないかと考えている。

**答** こども未来部長 保育に欠けるという状態を判断する基準として、この要件を設定しているが、就労の傾向も変化していることから、一時預かり事業を上手に活用していただけるよう支援していきたい。

**問** 一時預かり事業を実施している施設でも、



投票所に向かう有権者。選挙公報の候補者1人当たりの紙面を2倍にし、文字を拡大するなど、有権者の関心を高める取り組みが行われている。

め細かく読み取り、悩みや不安を受けとめて支えることが大事と考える。

### ●小・中学校の冷暖房整備

**問** 冷暖房設備整備のための調査に700万円もの費用が必要なのか。

**答** 教育総務部長 設置方式や学校の立地条件などのほか、整備期間の

短縮や経費面、環境面を考慮して最適な形で設置するため計上している。

### ●投票率向上

**問** 有権者本位の改善はどう検討されたか。また、郵便投票の状況は。

**答** 選挙管理委員会事務局 選挙公報の記載スペースを増やし、コンビニエンスストアにも補完的に配布した。また、郵便投票は、直近の市長選挙で登録者46人のうち30人が利用して投票した。

## 友好都市 軍浦市など3市を訪問

市議会では、友好都市の韓国軍浦市、北海道網走市、秋田県横手市に訪問団を派遣し、議会関係者などとの友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

### ◆厚木市・軍浦市友好都市締結5周年記念

#### 厚木市議会友好都市交流訪問団

1月17日～19日、軍浦市議会議長・軍浦市長表敬訪問、議会運営の視察、市議会関係者との意見交換など。

### ◆厚木市議会網走市訪問団

2月10日～12日、網走市議会議長・網走市長表敬訪問、網走市・市議会関係者との意見交換など。

### ◆厚木市議会横手市訪問団

2月15日・16日、横手市議会議長表敬訪問(副議長が対応)、議会運営の視察、市議会関係者との意見交換など。



# 厚木市立病院の 効率的な経営手法は

改革あつぎ 松本 樹影 議員



問 厚木市立病院では効率的な経営手法をどのように取り入れているか。

答 市長 患者の受け付けや医療システム対応、検査業務などの委託化のほか、医師、看護師業務などの専門性向上のため、医療の専門性を有する業者への委託化を進め、さらなる業務の効率化と安定した患者サービスの提供に努めている。

## ●人口減少対策

問 戸建て住宅の増加に向けての取り組みは。

答 市長 市内に新たな住宅を取得した方に対し、住宅ローン残高の一部を助成するマイホーム取得助成事業を平成23年

# 子宮頸がんワクチン助成を 高1女子に個別に周知しては

民主党 名切 文梨 議員



問 厚木市では今年2月より、中学1年生から高校1年生の年齢の女子に、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を全額助成している。高校1年生の場合は今年3月末までに第1回目の接種をしないと助成の対象外になることを知らない保護者も多く、また既にワクチン不足のため3月中に接種できない状況もある。対象の約千人に個別にお知らせを送付してはどうか。

## ●市役所窓口の配置

問 高齢福祉課と障害福祉課が2つの庁舎に分かれていて、お年寄りに優しい配置との声がある。各窓口の配置は何を優先しているか。

答 総務部長 申請手続きなどの関連性を考慮し、関係課を集めることで市民の利便性の向上を図っている。

## ●夕焼け小焼けメロデー

問 夏時間のメロデー放送は、午後6時では遅

度から実施する。

問 マイホーム取得助成事業のPR方法は。

答 まちづくり計画部長 広報などでのPRのほか、住宅取得を検討している方が足を運ぶ機会が多い金融機関や不動産会社などに、ポスターの掲出や本市の住宅支援制度をまとめたリーフレットの配架をお願いする。

## ●投票率向上

問 投票所の増設や再配置は可能か。

答 選挙管理委員会事務局長 有権者数の増減、有権者の利便性や地元要望などを勘案しながら、投票しやすい環境づくりに対応していく。

# 一般質問

主な質問と答弁



# 委員会の 審査 1

## 条例・補正予算など

### ——主な質疑と答弁——

条例の制定・改正、平成22年度補正予算などの議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

## 総務企画

○厚木市一般職の任期付職員採用等に関する条例について

問 最近の5、6年の間に、この条例の必要性を感じたことはあるか。

答 このところ業務の高度化、専門化が進んでおり、特に情報技術が進歩している中では必要と感じている。

問 優秀な職員を確保するため、採用試験の年齢制限を撤廃する必要があるのではないか。

答 年齢制限の撤廃は、今後の状況を見ながら検討していく必要がある。

## 市民福祉

○平成22年度厚木市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）

問 この制度は3月末で完全廃止となるのか。

答 老人保健制度は、3年前に後期高齢者医療に引き継がれたが、法に

や助産師が何人増えるかと考えているか。学業成績はどのように見るのか。

答 この奨学金制度で募集人数の半分ぐらいが確保できればと考えている。成績証明書を選考の材料にし、できる限り優秀な看護師を確保したい。

○厚木市小児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

問 無料だと、安易に受診する人が増えないか。

答 医療証の送付時にあつぎ健康相談ダイヤル24の案内を同封するなど対応を検討していく。

問 所得制限の議論はなかったのか。

答 庁内でも議論はあったが、経済的なことを心配せず、安心して医療機関にかかれるよう、所得制限は設けなかった。

## 環境教育

○平成22年度厚木市一般会計補正予算（第5号）

### 所管科目

問 日本容器包装リサイクル協会拠出金増の内容は。

答 通常は委託費を支払って処理してもらう

## 都市経済

○市道路線の廃止及び認定について

問 議案第1号、飯山の道路を造る目的は何か。その先の厚木国際カントリー倶楽部の中央道路は、ゴルフ場の土地と市の土地が入り乱れていることや、外周道路が整備されてきた状況もある

ので、今後在り方を検討すべきではないか。

答 I-67号線とI-87号線は行き止まり道路で、特に西側の辻本郷線からの入り口がなく、緊急車両などの出入りができなかったほか、ゴルフ場の敷地を借りて通行している状況もあった。それが今回、辻本郷線から南側の市道まで通り抜けできるようになる。

業費交付金について、小中学校のトイレ改修の状況は。また、全てが完了するのはいつか。

答 該当する校舎は83棟あり、平成22年度末までに約24%が完了する。平成26年度ぐらいまでに全てが完了するよう進めていきたい。

問 及川球技場整備事業費の減額の要因は。

答 人工芝を統一するため、各メーカーによる単価も含めた形でのプレゼンテーションを実施した結果、当初の見込みより安価で設計できたため、減額となった。

ゴルフ場の中央道路については、ゴルフ場東側から国道412号へ抜ける道路などが整備されてきたので、地元とも協議し、廃止という方向も考えていきたい。

○平成22年度厚木市一般会計補正予算（第5号）

### 所管科目

問 どの項目にも入札差金による減額が出てくるが、背景には落札するために企業がスレスレでやっている現実がある。これでは元気が出ないのではないか。

答 入札時の競争で執行残が生じていると認識しているが、入札・契約制度検討委員会などで執行残の問題について慎重に議論を重ね、臨機の対応をしている。今後も臨機の対応の方法について具体的に検討を進める。



厚木市立病院の看護師。月6万円の奨学金は、貸付期間に相当する期間、病院に勤務すれば返還が免除される



# 委員会の 審査

2

## 新年度予算関係

### ——主な質疑と答弁——

一般会計、特別会計など、平成23年度予算の議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

### 総務企画

#### ○一般会計予算(所管科目)

問 都市計画税を充当

する事業の中には、下水道事業のように、ほとんど終わっているものもある。納税者としては、どの事業にいくら充当されているか内訳を知りたいが、公表する意思はあるか。

答 充当事業の公表は必要だと思うので、今後研究したい。

問 市職員の退職者不補充の方針は継続しているのか。

答 第2次厚木市定員管理計画の考え方を継続しており、技能労務職など行政職2については、民間にできることは民間にということと委託化などを進めている。また、事務職など行政職1についても計画的に削減を進めている。

問 部署により、職員の配置に偏りがあるのではないか。

答 毎年、各部・各課

### 市民福祉

#### ○一般会計予算(所管科目)

問 平和市長会議に参加したことで、平和都市推進事業に変化はあるか。

答 平和市長会議のネットワークを生かした事業を推進することで、都市相互の緊密な連帯を通して、本市の市政や取り組みのPRが図られている。平成23年度は、長崎市や広島市から資料を手し、平和パネル展などを実施する予定である。

問 低公害車両導入事業の具体的な内容は。

答 管財課で管理している公用車149台のうち、低公害車は天然ガス自動車4台、電気自動車3台である。さらに、平成23年度に1台導入する計画である。

問 心身障害者医療費助成事業について、県が補助金を100%から50%にした経緯があるが、補助金の予算復活の要求はしているのか。

答 県には毎年、要望書を出している。この制

問 電気自動車の電池交換には、かなりの費用が掛かることを承知で事業を推進しているのか。

答 電気自動車の電池のメーカー保証は5年で、数百万円掛かるものもある。公用車両は、5、6年のリースで、電池交換しない範囲の中で契約を結んでいる。

度が全国的に実施されていることから、県から国に対し、法的な位置付けを要望している。

問 (仮称)暴力団排除条例推進事業の流れは。

答 条例の策定委員会に一般市民の参画を図るため、現在、公募を行っている。8月にパブリック・コメントを実施し、12月定例会への提案を考えている。条例制定後は、不動産業やビル業者に対し、暴力団に事務所となる場所を貸さないよう契約書に記載する協力をお願いする。その期間を考へ、平成24年2月に施行

### 環境教育

#### ○一般会計予算(所管科目)

問 温暖化対策事業は、一般家庭から排出される温室効果ガスの削減を目的に、太陽光発電システムや高効率給湯器の設置、電気自動車の購入に補助をするというが、普及の目標はあるか。

答 それぞれの目標はないが、平成32年までに温室効果ガス25%削減を目標に事業を進める。再生可能なエネルギーを活用する太陽光発電システムなどの導入を促進するため、市民への支援を精力的に行っていく。

問 相模川水辺ふれあい拠点創出事業で、バラ植栽の今後の計画は。

答 平成23年度は、厚木市が費用を負担して植

できるよう努めていく。

#### ○病院事業会計予算

問 厚木市立病院における看護師、助産師の人数と休職状況、勤務体制はどうなっているか。

答 3月1日現在、看護師は246人、助産師は14人で、そのうち産後休職は4人、育児休暇は13人、療養休暇は2人が取得している。どの病棟でも2交代制を進めているが、一部混合の病棟もある。2交代制は、勤務した翌日の休養時間が長く、特に若い方に好まれているが、3交代制がいいという職員もいる。

### 都市経済

#### ○一般会計予算(所管科目)

問 マイホーム取得助成事業の内容は。

答 人口規模を適正に維持するため、定住促進を図る方法として、市内で新たに住宅を取得した世帯に対し、年末の住宅ローン残高の1%、上限12万円を3年間助成するもので、平成23年度は600件を予定している。

マンションも含めて、持ち家のある方が、別の持ち家を買った場合は、既に定住の考えがあるため対象とはしない。

問 住宅リフォーム助成事業の内容は。

答 市内の消費を促し地域経済の活性化を図るほか、居住環境向上と既存住宅ストックの有効活用を図るため、市民が10



平成24年度に撤去が予定されている歩道橋(中央公園西側交差点)

万円以上の個人住宅のリフォームを市内の施工業者により実施した場合、一律5万円を助成する。

問 交差点改良事業の内容は。

答 みはる野入口交差点は、みはる野団地から厚木方面に向かう左折車両がかなり多いので、左折レーンを1レーン増やし、ダブル左折の形にする。中央公園西側交差点は、現在、県警との協議が済み、平成24年度に歩道橋を撤去させるための準備工事の予算を計上している。

問 飯山のハツ橋付近から下古沢の斎場まで下水道管を1本通しているが、周辺住民も使えるようにできないか。

答 1205メートルの敷設工事を行った中で、将来的な市街化調整区域の整備を見越して、サイビス管を取り出せるようマンホールを設置した。

## 平成23年度会計別予算

(単位: 千円)

| 会計区分 |           | 平成23年度<br>当初予算 | 平成22年度<br>当初予算 | 比較増減       | 対前年度<br>比(%) |
|------|-----------|----------------|----------------|------------|--------------|
| 一般会計 |           | 78,920,000     | 75,180,000     | 3,740,000  | 105.0        |
| 特別会計 | 公共用地取得事業  | 380,916        | 3,166,457      | △2,785,541 | 12.0         |
|      | 老人保健医療    | 0              | 8,130          | △8,130     | 皆減           |
|      | 後期高齢者医療事業 | 1,603,000      | 1,576,000      | 27,000     | 101.7        |
|      | 国民健康保険事業  | 23,491,000     | 22,840,000     | 651,000    | 102.9        |
|      | 介護保険事業    | 8,408,000      | 8,086,000      | 322,000    | 104.0        |
|      | 交通災害共済事業  | 17,000         | 34,170         | △17,170    | 49.8         |
|      | 自動車駐車場事業  | 0              | 225,892        | △225,892   | 皆減           |
|      | 公共下水道事業   | 5,640,000      | 5,911,000      | △271,000   | 95.4         |
|      | 計         | 39,539,916     | 41,847,649     | △2,307,733 | 94.5         |
|      | 公営企業会計    | 8,864,754      | 8,073,502      | 791,252    | 109.8        |
| 病院事業 |           |                |                |            |              |
| 合計   |           | 127,324,670    | 125,101,151    | 2,223,519  | 101.8        |

※老人保健医療と自動車駐車場事業特別会計による2つの事業は、平成22年度で終了となりました。なお、病院事業会計は支出予定額です。

本会議の審議結果

| 番 号           | 2 月 定 例 会 提 出 案 件                        | 各会派の賛否 |             |             |             |             |             |             |        |        | 議決結果 |     |
|---------------|------------------------------------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|------|-----|
|               |                                          | 改<br>革 | み<br>ら<br>い | 公<br>明<br>党 | 市<br>政<br>ク | 共<br>産<br>党 | ネ<br>ッ<br>ト | 民<br>主<br>党 | 市<br>民 | 新<br>星 |      |     |
| 議 案 第1・2号     | 市道路線の廃止及び認定について（2件）                      | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第3・4号     | 市道路線の認定について（2件）                          | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 5 号     | 市道路線の廃止について                              | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 6 号     | 厚木市と清川村との一般廃棄物処理の事務委託に係る協議について           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 7 号     | 平成22年度厚木市一般会計補正予算（第5号）                   | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 8 号     | 平成22年度厚木市公共用地取得事業特別会計補正予算（第1号）           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 9 号     | 平成22年度厚木市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）             | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 10 号    | 平成22年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）          | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 11 号    | 平成22年度厚木市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 12 号    | 平成22年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）             | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 13 号    | 平成22年度厚木市交通災害共済事業特別会計補正予算（第2号）           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 14 号    | 平成22年度厚木市自動車駐車場事業特別会計補正予算（第1号）           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 15 号    | 平成22年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）            | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 16 号    | 厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例について               | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 17 号    | 厚木市看護師等奨学金貸付条例について                       | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 18 号    | 厚木市土地開発公社の解散に伴う関係条例の整理に関する条例について         | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 19 号    | 厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について    | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 20 号    | 厚木市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 21 号    | 厚木市国民健康保険条例の一部を改正する条例について                | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 22 号    | 厚木市小児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について          | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 23 号    | 厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 24 号    | 平成23年度厚木市一般会計予算                          | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ●      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 25 号    | 平成23年度厚木市公共用地取得事業特別会計予算                  | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 26 号    | 平成23年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計予算                 | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ●      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 27 号    | 平成23年度厚木市国民健康保険事業特別会計予算                  | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ●      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 28 号    | 平成23年度厚木市介護保険事業特別会計予算                    | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ●           | ○           | ○      | ●      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 29 号    | 平成23年度厚木市交通災害共済事業特別会計予算                  | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 30 号    | 平成23年度厚木市公共下水道事業特別会計予算                   | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ●      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 31 号    | 平成23年度厚木市病院事業会計予算                        | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 可決  |
| 議 案 第 32 号    | 副市長の選任について                               | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 同意  |
| 議 案 第 33 号    | 監査委員の選任について                              | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 同意  |
| 議 案 第 34 号    | 公平委員会委員の選任について                           | ○      | ○           | ○           | —           | ○           | ○           | ○           | ○      | ○      | ○    | 同意  |
| 22 陳 情 第 19 号 | 武器輸出三原則・非核三原則の見直しを求める意見書を国に提出することを求める陳情  | ●      | ●           | ●           | —           | ●           | ●           | ●           | ●      | ●      | ●    | 不採択 |
| 陳 情 第 1 号     | 林交差点歩道に安全ポール6本を復元することを求める陳情              | ●      | ●           | ●           | —           | ●           | ●           | ●           | ●      | ●      | ●    | 不採択 |
| 陳 情 第 2 号     | 非核三原則の法制化を求める意見書を国に提出することを求める陳情          | ●      | ●           | ●           | —           | ●           | ○           | ○           | ○      | ○      | ●    | 不採択 |
| 陳 情 第 4 号     | 中学校教科書採択についての陳情                          | ○<br>△ | ○           | ○           | —           | ●           | ●           | ●           | ●      | ●      | ●    | 不採択 |
| 陳 情 第 5 号     | 武器輸出三原則の見直しを求める意見書を国に提出することを求める陳情        | ○●     | ○           | ●           | —           | ●           | ●           | ●           | ●      | ●      | ●    | 不採択 |

◎「22陳情第11号 保育制度改革に関する意見書を国に提出することを求める陳情」は、市民福祉常任委員長の継続審査の申し出に対し、全会派が賛成し、賛成全員で継続審査となりました。

◎「陳情第3号 T P P交渉への参加に反対する意見書を国に提出することを求める陳情」および「陳情第6号 T P P交渉への参加に反対し、日本農業の再生を求める意見書を国に提出することを求める陳情」の2件は、都市経済常任委員長の継続審査の申し出に対し、賛成多数（反対は井上武議員、石井芳隆議員）で継続審査となりました。

◎平成23年3月25日議決時における厚木市議会議員27人の会派構成など

※議長…田上祥子、副議長…神子雅人

※会派表記、正式名称、議員数、所属議員（ 〇は代表者）

改革…改革あつぎ(8)：石井芳隆、高田浩、松本樹影（陳情第4号退席）、井上武、松前進、小島一郎、太田洋、徳間和男（陳情第4号・第5号賛成）

みらい…あつぎみらい(5)：松田則康、難波達哉、神子雅人、越智久一、沼田幸一 公明党…公明党厚木市議員団(4)：川口仁、寺岡まゆみ、田上祥子、関戸順一（欠席）

市政ク…市政クラブ(2)：齋藤仁礼、石井恒雄 共産党…日本共産党厚木市議員団(2)：釘丸久子、栗山香代子 ネット…神奈川ネットワーク運動厚木市議員団(2)：前田多賀子、山本智子

民主党…民主党(2)：名切文梨、佐藤知一 市民…あつぎ市民の党(1)：奈良握 新星…新星21(1)：山口貴裕

東日本大震災  
市議会の対応

東日本大震災を受け、厚木市議会では、各議員からの災害義援金を被災地域の支援のためにお送りしたほか、本厚木駅前などで行われた災害義援金街頭募金活動に積極的に参加し、多くの皆さまから募金にご協力をいただきました。

また、大震災に伴う所要の予算措置に当たり、予備費の活用のほか、専決処分を効果的に行うよう、議長から市長に申し入れをしました。

本会議場で黙とうを捧げる出席者▼

開かれた議会の推進へ  
広報広聴委員会

市議会の活動状況を広く市民に周知するとともに、広聴の在り方について協議するため、1月21日、厚木市議会に広報広聴委員会が設置されました。

議員9人が、市議会だよりやインターネットによる広報、その他議会の広報広聴に関する事項を担います。

委員一同、開かれた議会の推進に努めてまいります。

広報広聴委員会

委員長 石井芳隆  
副委員長 釘丸久子  
委員 名切文梨、前田多賀子、難波達哉、関戸順一、松田則康、齋藤仁礼、松前進

市議会だよりは再生紙を使用しています。不要になりましたら、資源回収にお出しください。